

小樽山(こならやま)

酒井晴永

中央自動車道を信州に向かう途中、笹子トンネルを抜けるとまもなく右手はるかの稜線に大きくなだらかな二つの峰が見えてくる。右側が小樽山で左側が大沢ノ頭である。

中央自動車道勝沼(かつぬま)ICから411号線を経て信号の少ないフルーツラインを快適に走ってオーチャードヴィレッジ・フフ(休業中)に着く。※1 獣害防止の金網扉があり、手前の駐車場には三台の車が駐車している。※2

金網扉を開けて林道に入る。動物の害を防ぐためにいつも閉鎖しておかなければならない。しっかり閉めていく。林道は狭くなったり広くなったりしながら勾配は増し、遂に5人のうち3人は下車して歩くことになった。15分ほどで左に本日の下山口、父恋し路の登山口を過ぎ、母恋し路の登山口に着いた。

道路脇に車を止め出発する。枯れ葉で埋まった山道に、コケむした大小の岩石が散乱して、静かな晩秋の深山の趣がある。少し寒いが登山は少し冷えるぐらいがよい。最初は少しきつく感じたが全体的には勾配は緩やかなので、ゆっくり歩けば登りやすい。

標高 1500 近い晩秋の山道は紅葉が終わり葉を落とした枝と枯れ葉をつけた枝が半々ぐらいだ。小樽山の名前の一説の通りナラの木が多い。一昔前は夢想国師(むそうこくし)が名付けたとされる古那羅(こなら)山という字を使った時もある。母恋しと名づけられるだけにやさしい登山道である。何の鳥か、寒空にさえた鳴き声が響いている。

沢を離れると急坂になりカーブの多い七曲(ななまがり)の薄暗い雑木林の中を登る。カラマツ林を抜けて約1時間で明るい草原状の小広い小樽峠に着いた。峠は幕岩(まくいわ)と小樽山と焼山峠方面との分岐点になる。峠から右に折れて15分ほどの登りだ。すでに冬木立だが真っ青な空に映えて美しい。穏やかで気持ちのよい樹林の中を登って小樽山の山頂に着いた。

思わずオッと歓声を上げる。視野の中央に見事な富士山が鎮座してその左右に白く輝く南アルプスを抱いている。



小樽山山頂



山頂とは思えない小広場である。焼山峠から登ってきたらしい軽装の登山客も多くデジカメのシャッター音の連続である。二等三角点やあずまやがある。

昼食後、錫杖（しゃくじょう）ヶ原と呼ばれるカヤトの原を下る。シラカバが点在し、春はレンゲツツジで彩られる美しい場所である。金峰山（きんぶさん）、国師（こくし）ヶ岳（たけ）、朝日岳（あさひだけ）が望める。付近一帯の樹木はダケカンバ、コナラ、ミズナラ、カラマツ、グミなどである。マツムシソウやワレモコウ、アキノキリンソウなどの草花はもう朽ちている。



小樽山山頂から富士山を望む

一杯水と呼ばれる水場の水は枯れていた。的石（まといし）經由焼山峠への道を分け、左折して小樽峠に戻り、幕岩へ向かう。岩石帯の入り交じった細い山道を緩やかに上下しながら回りこむ。10分ほどで幕岩の登り口に着く。大きな岩の隙間を鎖や岩につかまりながら登り、いったん中段の岩に取り付き、そこから岩頭に移動するのだが勇気がいる。高所恐怖症の人は止めた方がよい。

やや傾斜した小広いスペースの岩頭からは八ヶ岳（やつがたけ）、白峰三山（しらねさんさん）、金峰山の五丈石（ごしょういわ）、乾徳山（けんとくさん）が見える。

幕岩は下りるときのほうが怖い。幕岩を後にして北側を回り込み15分ほどで大沢ノ頭に出る。立派な木柱が立っている。展望は幕岩の岩頭とほぼ同じだ。妙見（みょうけん）山方面への標識にひかれながら、父恋し路の下りにかかる。多少荒れてはいるが通行は可能だ。山道という感じではない。谷底へずり下りるようだ。夢想国師の修業の地と言われているだけに奇岩や怪石が随所にある厳しい道であるが楽しさもある。

雑木や岩につかまりながら注意深く下る。道が途絶えて付近を見渡す。下の岩陰に赤テープが見える。回り込むルートもありそうだが岩石伝いに直接下った。羅漢岩（らかんいわ）と書いてある。さらに屏風岩を通過する。体を樹木や岩に確保しながら急下降する。蛙岩は全体が蛙の格好に見えるだけの石である。

岩石帯を過ぎると傾斜も緩くなり安心する。このコースを登りに使うと、きつくて大変そうだが、いろいろな岩を觀賞したり、解説を読んだり、たくさんある石仏を楽しみながらゆっくり登るのもよさそうだ。

急坂ではあるが岩はしっかりしているから危険は感じない。だんだん傾斜も少なくなってきた白雲（しらくも）の滝に出る。しばらく後続の友を待ちながら小休止する。滝の水量は少なく「白糸の滝」のようだ。

すぐ頭の欠けた姫百合地藏だ。コケむした岩石帯の中、枯れ葉で埋まった雑木林を抜けるとまぶしいくらいに明るい。階段を下りて林道に出て、周回コースは終了したが、やさしさと厳しさを兼ねたよい山行だった。

マイカーを利用しない場合は焼山峠までタクシーを利用して焼山峠から小櫛山に登り、小櫛峠から父恋し道を経てオーチャードヴィレッジ・フフまで歩いて、古い座頭塚（ざとうづか）、石碑、造林小屋跡などを見るのも楽しいだろう。 ※3

（11年10月29日（土）歩く）

付記 オーチャードヴィレッジ・フフから登山口まで歩くと約1時間20分。

オーチャードヴィレッジ・フフは、今年9月に再開予定。 ※1

●コースタイム

母恋し路登山口ー1時間ー小櫛峠ー15分ー小櫛山ー10分ー一杯水ー18分ー小櫛峠ー18分ー幕岩ー15分ー大沢ノ頭ー35分ー白雲の滝ー20分ー林道出口

[計3時間11分]

●費用

新宿＝塩山 JR 1890円

塩山駅＝オーチャードヴィレッジ・フフ タクシー 3000円

※母恋し路登山口までは利用不可

※塩山駅＝焼山峠 タクシー 約6700円

●問い合わせ

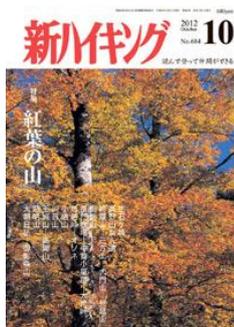
塩山タクシー 0553-32-3200

牧丘タクシー 0553-35-2104

山梨市役所（観光課） 0553-22-1111

●地図

川浦（2万5千） 甲府（20万）



このページの情報は、新ハイキング社発行の「新ハイキング 2012年10月号」に掲載された記事を、新ハイキング社の許可を得て転載したものです。

掲載当時の文章をそのまま掲載していますので、コースの現況や交通機関等の情報が現在と相違していることがあります。（一部修正箇所は注釈を加筆しています）

実際にコースを歩いてみて、「がけ崩れで通れなくなっている」「コースが付け変わっている」「新しく標識ができている」などの情報がありましたら、山梨市観光協会（山梨市役所観光課内）まで情報をお寄せください。

-
- ※1 現在は「保健農園ホテルフフ山梨」として営業中。
 - ※2 フフから先の林道は急坂の狭悪路が続きます。また、林道工事のため大型車両が頻りに通過するので、金網扉前の駐車場に車を止めたほうが安全です。
 - ※3 平成26年より、6月から11月下旬に塩山駅～柳平～焼山峠間に予約制の乗合バスが運行しています。運行の詳細は、栄和交通 0553-26-2344